

◇指定管理者候補者の提案要旨について

【上尾市地域振興公社の主な提案】

1 地域に密着している

- ①市民体育館は避難所としての機能を有している。地域振興公社の職員は、ほとんどが市内在住であり、震災や台風など災害時等に体育館へ駆けつけることが可能であり、素早い対応ができる。
- ②清掃や警備、機械設備の点検など委託業務は市内業者を活用するので、地域経済の活性化につながる。また、体育館のパート職員などは地元を優先することが提案されている。

2 自主事業について

- ①地域振興公社の提案事業（スポーツ・レクリエーション教室等）について、公益法人のため営利目的ではないので、参加費も必要経費分で開催できる。また、市内のスポーツ・レクリエーション団体（体協・スポーツ推進委員等）との連携を図れるので、地域スポーツ・レクリエーション活動の推進にもつながる。
- ②トレーニングルームの利用者サービスの向上策として、
 - トレーニングマシンの入れ替え
 - 直営時は実施していなかった、トレーニング指導員を常時配置する提案がされている。また、今まで直営時は利用の少なかった女性や高齢者の利用者を促進し、利用者の拡大を図る提案がされている。

3 管理運営について

- ①市民体育館西側のゆりが丘公園について、「遊具が壊れた」「公園のトイレが汚れている」など市民からの相談は、市民体育館へ寄せられることが多く、素早い対応ができなかった。
- ②地域振興公社が体育館を管理することにより、ゆりが丘公園と一体的な管理が可能となり、対応もスピードアップが図れる。

【指定管理料について】

指定管理料の提案については、

平成25年度	61,797,000円	平成26年度	59,209,000円
平成27年度	59,627,000円	平成28年度	59,042,000円
平成29年度	58,612,000円	合 計	298,287,000円

※ 指定管理料の内訳は、管理費、人件費・事務費・事業費